

# 地域DX に向けた昼夜マッピングパーティによる 地域課題の可視化レポートの作成

亀井唯斗 首藤尚熙 福澤拓実 吉田悠哉 松浪早希 賀川経夫  
(大分大学理工学部理工学科知能情報システムプログラム, 大分大学大学院理工学研究科)  
協力:大分市春日地区自治委員 Code for Oita

## 背景・プロジェクトの目的

- 地域DXの重要性が高まる一方で、地域の日常的な課題や気づきは十分に共有・蓄積されていないといった課題があります。
- 本プロジェクトでは、大分市春日地区を対象に、地域住民と学生が協働して地域を歩き、地図を用いて地域の課題や気づきを可視化する「マッピングパーティ」を実施しました。特に今回は、昼と夜の2つの時間帯で調査を行い、その環境の違いにも着目しました。

## プロジェクトの実施内容

### マッピングパーティ・アイデアソン

- 誰でも編集可能な地図のオープンデータである OpenStreetMap を活用し、対象地域を歩きながら調査を行うマッピングパーティを、昼と夜の2つの時間帯で実施しました。
- 昼の部では、大分市春日地区において地域の方々とともに散策を行い、気づいた点を地図上に集約しました。夜の部では、昼の調査で街灯などが気になった場所を中心に、改めて調査を行いました。



### Open Street Mapの充実化



## レポートの作成

- マッピングパーティで集約された様々な意見をまとめて、地域の日常的な問題点と改善案を検討し、レポートを作成して当該地域の方に配布いたしました。

<b>王子中町の特徴</b> <ul style="list-style-type: none"><li>暮らし<ul style="list-style-type: none"><li>明るさはほとんど問題無し!</li><li>道路問題は多くある<ul style="list-style-type: none"><li>交通量多い、歩行者多い、道路狭い</li><li>広い道路に横断歩道・信号がない</li></ul></li></ul></li><li>観光<ul style="list-style-type: none"><li>王子温泉があるが、駐車場がない</li></ul></li><li>防災<ul style="list-style-type: none"><li>住宅密集 → 道が狭い → 火</li></ul></li><li>主な課題: <b>道路問題</b></li></ul>	<b>中春日町の特徴</b> <ul style="list-style-type: none"><li>暮らし<ul style="list-style-type: none"><li>散歩するなら良い所 (明るくて広い)</li><li>交通量が多い、信号のない横断歩道も</li><li>大通りから外れた住宅地は暗いところがある</li><li>見通しの悪い道もある</li></ul></li><li>観光<ul style="list-style-type: none"><li>シティサイクルがある</li></ul></li><li>防災<ul style="list-style-type: none"><li>道は広い → 消防車は通れる</li><li>高い建物はあるが、地震・津波発生時に入れるのかどうかは不明</li><li>海拔表示あり</li></ul></li><li>主な課題: <b>道路問題, シティサイクルの利活用について</b></li></ul>	
---	--	--

### 地区の方からいただいた意見

- 地域を改めて見直すよい機会になった
- 活動の目的や意義が分かりやすかった
- 地元とは異なる視点からの意見が参考になった
- 昼夜の2つの時間帯での実施は、安全・防災の観点から有効であった
- 一方、活動内容や成果の地域への還元方法が分かりづらいとの意見や、継続的な取り組みへの課題も挙げられた

## まとめと今後の課題

- マッピングパーティを通じて、地域の日常的な課題の発見に取り組みました。地域の方々の協力のもと、有意義な活動を実施することができ、その成果をレポートとして取りまとめ、地区の方々へ共有しました。その結果、多様な意見や示唆を得ることができました。
- 今後は、これらの意見を踏まえ、単発的なイベントにとどまらず、地域内で課題や情報を継続的に共有する仕組みについて検討していきます。